

# 看護あきた

Nursing Akita

Vol. 113

平成25年度 2号

公益社団法人秋田県看護協会会報

- 1 新人ナース紹介
- 3 シリーズ看護部長が看護の想いを語る
- 4 シリーズ認定看護師 こまち紹介
- 5 平成25年度 看護管理者連絡会議報告
- 6 平成25年度 訪問看護管理者研修
- 7 地区活動報告
- 9 子育て応援団すこやかあきた2013 イベントリポート
- 10 理事会だより
- 11 事務局からのお知らせ



秋田竿燈まつり  
秋田県看護協会員



秋田竿燈まつり  
写真提供: 秋田県観光連盟



全国花火競技大会「大曲の花火」  
写真提供: 秋田県観光連盟



西馬音内盆踊り  
写真提供:  
秋田県観光連盟

平成25年度会員数(8月6日現在) 6,928名

保健師 298名 助産師 318名 看護師 6,034名 准看護師 278名

# 新人ナース紹介

憧れの看護師として  
働いていることの喜び

伊藤 あき葉さん

かつの厚生病院

私は4月からかつの厚生病院の消化器内科を中心とした混合病棟で働いています。かつの厚生病院は、人と人の距離が近く、患者さんも医療チームもみんな家族のように感じます。このような環境のもとで働けることを嬉しく思います。

最初はわからないことばかりでしたが、先輩方が私に合わせた指導・見守りをしてくださり、安心感のある中で積極的に経験し、学習を積み重ねていくことができました。一喜一憂の日々で辛いこともありますが、それよりも憧れの看護師として働いていることの喜び、充実感があります。

これからも一つ一つの経験と感じたことを大切にしながら学び続けていきたいです。安心感のあるあたたかい看護を目標に、日々、視野を広く興味を持って行動し、専門職としても一人の人間としても高めていきたいです。



先輩ナース  
から



菅原 梓さん  
プリセプター

看護師として、入社してから4か月が過ぎようとしています。

日々の業務で覚えなくてはならないことが多く大変だと思います。朝早くから病棟に来て情報収集をし、アドバイスや疑問はメモにとり仕事を早く覚えようと頑張っています。

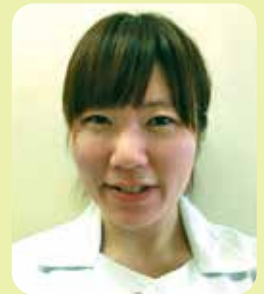
また、伊藤さんの笑顔や患者さんに対しての優しい言葉かけは、私自身気づかされてもらうことが多くあります

これから先、壁にぶつかることもあると思いますが一緒に乗り越えていきましょう。

患者・家族に寄り添える  
看護師をめざす

大澤 琴美さん

中通りハビリテーション病院



先輩ナース  
から

升屋 希さん  
プリセプター

チーム全体で情報を共有しながら、新人の成長について関わっています。新人さんが疑問に思ったことをその都度質問できるように雰囲気作りを心がけています。指導する側であっても気付かされることや勉強になることがあり、初心に戻って看護をすることができています。

私はリハビリテーション病院の療養病棟で働いています。最初はわからないことが多く、戸惑いや不安でいっぱいでした。又、業務の内容や流れを覚えることで精一杯で、患者さんと向き合うことが出来ず悩むこともありましたが、先輩看護師の優しい言葉かけやアドバイスが支えとなり、今では業務のことだけでなく、どうすれば患者さんに満足いく看護が出来るかを考えながら、患者さんと関わることができています。この4か月間を通して失敗して落ち込むこともありましたが、一人で出来ることも少しずつ増え、仕事を任せられることで責任感を実感し、やりがいを感じるとともに自信にも繋がりました。

私の病棟には、将来なりたい自分の姿や目標になる先輩看護師が沢山います。先輩看護師から多くのことを吸収し成長していきたいです。リハビリテーション病院の職員として思いやりをもち、患者・家族に寄り添えるような看護師になりたいです。

## 患者の変化に気づける 看護師に

### 菅原 香代子さん

由利組合総合病院



就職して3ヶ月、夜勤業務も始まり新たな気づきの中で注射や清潔ケアなどの看護技術をはじめ、患者さんや家族の訴えに耳を傾け苦痛の軽減や希望に沿った看護ができるよう、指導を受けながら日々頑張っています。また、血液疾患の患者さんや高齢の患者さんの看護は難しく不安でいっぱいですが、焦らずに少しずつ一人でできる技術や場面を増やしていき、成長していきたいと思っています。

これからも、様々な患者さんと接する機会が増えると思いますが、観察力を磨き患者さんの少しの変化にも気づける看護師になりたいです。

## 先輩ナース から



### 工藤 亜希穂さん プリセプター

菅原さんは、就職して3ヶ月が過ぎたばかりですが、患者さんやご家族の訴えをよく聴いて、わからない事はメモを取りながら、早く仕事を覚えようと明るく前向きに一生懸命取り組んでいます。不安を抱えながら病気と向き合っている患者さんに寄り添う気持ちを忘れずに、安心感を与えられるような看護をしてほしいと思います。

プリセプターとしての私も、菅原さんのサポートを通して多くの事を学び、共に成長していきたいと思っています。

## 知識と技術と人間性で 質の高い看護を

### 前川 大輔さん

秋田県立リハビリテーションセンター・精神医療センター



## 先輩ナース から



### 木曾 新さん プリセプター

この春より、新人指導係を任されています。新人さんを見ていると就職当時の自分のことを思い出す時が多々あります。勤務の都合で数日会わない日が続くと、いつの間にか採血が上達しているなど成長の速さに驚かされ、また喜ばされている毎日です。

4月からスタッフの一員として働かせていただいてから、専門職者としての心得や業務内容について、援助技術など多くのことを指導していただいています。病棟の先輩たちからはやさしく、適切な指導をしていただいております。とても働きやすい環境であると感じています。現在は患者さんとの関わりの中でアセスメントや援助のアドバイスをもらいながら多くのことを経験させていただいています。また、よい看護とは知識と技術と人間性により成り立つものであると教えていただきました。そのため、看護のみならず多くのことに疑問・好奇心・向上心などをもって学習していく事で一人の人間として日々成長し、少しでも質の高い看護を提供できるようになっていきたいと考えています。



# 看護部長が 看護の想いを語る



No. 10

大曲中通病院  
総看護師長

大山京子さん

想いやりと倫理的感性を高める

## 大仙仙北地域の特徴

大仙市の高齢化率は32.4%(秋田市24.9%)脳卒中と糖尿病が多い特徴があります。その様な中、社会医療法人明和会大曲中通病院は、ベッド数106床で救急も受け入れ一般病棟・療養病棟また4階には県内でもまれなショートステイ(16床)を併設しており管理者として兼務させてもらっています。地域的にも当院の果たす役割、立ち位置は明確でありリハビリ、透析にも力を入れております。

## 看護に対する想い こだわり

わたしの拘は「倫理的問題点に気づける倫理的感性と優しさを持ち併せている看護集団」また「当たり前の事の重要さに気づける看護集団」でありたいと考えております。

この組織風土づくりを第一に考えておりま

す。この組織風土が患者さんへまた同僚間でも善いケア善い仕事に繋がると想っております。そして患者中心の看護を行うため、また想いやりと倫理的感性を高めるため、看護職員・看護補助者で一人1事例を通してPeer reviewを行っています。また倫理研修は具体的な事例を通して定期的におこなっております。

## 地域でチーム医療の時代

2025年問題を目前に医療と在宅と施設の充実で、患者が迷わない様に病院と顔の見える親密なつきあいが必要であると考えております。この様にシームレスなネットワークづくりと地域全体の看護・介護の質の向上を目指したく、これからは地域でチーム医療の時代と考えます。

今年3月から、大仙市と美郷地区の介護施設と協働研修を始めました。(6月現在で34施設の参加あり今後も増えると予想されます)

会場を当院として施設からの課題、学習希望もアンケートし疾患・感染防止・安全対策・事例検討等行いながら交流も図っております。お互いに学びも多く、今後は開業医にも参加してもらえるように働きかけていきたいと考えております。

## 看護介護職責者に求めるものは

「看護が語れること」また「スタッフの役割モデルとなれること」「経験を言語化できること」です。そのために会議等でも一人ひとりに“語るチャンス”を作っております。

“いつでも どこでも 誰にでも 想いやりの看護を提供します”この私たち看護部門の基本理念と、3つの基本方針に向かって明るく・楽しく・元気に・チームワークの良い看護集団で頑張っております。



## 「こまち」紹介

毎回、看護の専門性をたゆみなく探求し続ける認定看護師さんを紹介します。

### 山田 泰子さん

こまち File No.29

秋田大学医学部付属病院  
皮膚・排泄ケア認定看護師

#### 今取り組んでいること

私は当院で2人目の皮膚・排泄ケア認定看護師です。先輩がこれまで築き上げてきたものを土台に、自分らしさをプラスできるよう、日々研鑽を積んでいます。現在病棟に所属し、褥瘡対策チームの一員として活動し、院内全体の褥瘡予防に貢献しています。また、週1回ストーマ外来を担当しています。ストーマを造設される方の生活様式や社会背景は多様です。限られた診察時間の中で、個別性を考えたケアを行い、他職種と連携しながら、患者さんやご家族が自宅で快適に過ごせるよう支援しています。

#### 皆と一緒にがんばりたいと思っていること

ケアの大半はスキンケアです。ケアの結果が目に見えるため、やりがいがあります。各病棟の褥瘡リンクナースにもこのやりがいを感じてもらえるよう、連携を深めたいと考えています。それが、病棟ナースに広がり、スキンケアに対するモチベーションが向上すると、創傷治癒の促進や患者さんの安楽、そして回復への喜びにつながると思います。



### 藤原 朋未さん

こまち File No.30

秋田赤十字病院 腫瘍内科外来  
がん化学療法看護認定看護師



#### 今取り組んでいること

私は外来化学療法室で2名の専従看護師と活動しています。がん化学療法を受ける患者は、副作用症状、心理社会的苦痛など様々な問題を抱えており対応に苦慮することがあります。がんと共に自分らしく過ごせるように、副作用症状等に対する電話相談、医師・薬剤師などとのカンファレンスによる多職種連携、安全構築に向けた副作用評価シートの作成、スタッフ教育などに取り組んでいます。外来という限られた時間の中で患者・家族が安心でき、居心地のよい場所でありたいと日々活動しています。



#### 皆と一緒にがんばりたいと思っていること

新たな治療法の確立や新規抗がん剤誕生など、がん化学療法は「薬剤」に重きを置かれがちですが「看護」の視点が大切です。定期的な勉強会やカンファレンスによる専門的知識の提供・情報共有、看護ケアについてスタッフと一緒に考え組織全体のがん看護レベルアップ、連携の和を広げていきたいと思っています。

# 看護管理者 連絡会議 研修会開催



目的：看護管理者が現場で抱えている看護実践上、地域活動上、体制上の課題を共有し、課題解決の為の方策と看護協会としての取り組みや支援のあり方を考える。

対象：■秋田県内各医療施設の看護管理者 ■県内介護福祉施設の看護管理者  
■各地域振興局福祉環境部及び県内市町村の保健師職能の総括者  
■訪問看護ステーション所長 ■地域包括支援センターの長  
■総参加者60名

日時：平成25年7月9日(火) 10:00~16:00

## 内容

会長挨拶：情報提供「看護の動向と課題」  
秋田県看護協会会長 烏トキエ



講演 「新たな医療保健福祉計画の策定について」  
講師 秋田県健康福祉部医務薬事課長 進藤 英樹 氏

講演 「日本看護協会看護職賠償責任保険制度の意義と運用の実際」  
講師 日本看護協会出版会損害保険部長  
看護職賠償責任保険制度サービス推進室室長 平林 明美氏



話題提供(一人10分程度)

- ①夜勤・交代制勤務について  
社会保険病院看護局長 佐々木 冷子氏
- ②看護補助者の役割と教育について  
秋田組合総合病院副看護部長 佐藤 やよい氏
- ③介護福祉施設における看護職の課題と対策  
介護老人保健施設やすらぎの苑 看護師長 松井 悦子氏

グループワーク 話題提供テーマから自施設の課題解決に向けたディスカッション  
看護協会に期待する事や要望について話し合う。

## まとめ

進藤氏の内容はこれからの秋田県の医療がどうなっていくのか、そのために県として何を実践しているのか具体的でとても関心の高いものであった。平林氏は事例を上げながら問題が発生した時の支援について分かりやすく話され、もっと聞きたかったという意見が多かった。

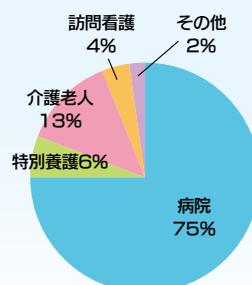
話題提供は今、最も課題の3つのテーマを取り上げた。その後グループワークにつなげて話し合われた。

自施設の課題と合わせながら検討できたという評価であった。

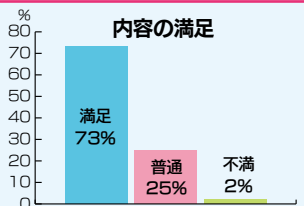
全体的にそれぞれが興味のあるテーマであり、時間をかけて聞きたい内容であるという評価であった。

アンケート結果  
(回答者48名・回答率80%)

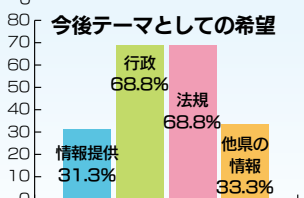
### アンケート対象者



### 内容の満足



### 今後テーマとしての希望





平成  
25  
年度

# 訪問看護管理者研修

## 目的

訪問看護事業所の管理者に対し、訪問看護ケア技術の向上や安全管理、スタッフの人材管理を含む経営技術等について理解を深め、経営強化を図り、訪問看護の資質向上に必要な能力を身につける。

## 研修日程

平成25年6月29日(土)、7月6日(土) 9:30~16:00

## 受講者

6月29日:22名、7月6日:23名(修了者20名)

## 講師

秋田大学大学院医学系研究科 教授 中村 順子氏 [6月29日9:30~16:00・7月6日9:00~12:00]

「これからの訪問看護に求められる人材とは、  
訪問看護師の育成・管理者の役割」

聖隷クリストファー大学大学院 教授 川村 佐和子氏 [7月6日13:00~16:00]

「自宅医療管理の位置づけ・医療的ケアにおける連携」



## アンケート結果(回収率92%)

年齢	
30代	2人
40代	8人
50代	10人
60代以上	2人

職位	
管理者	14人
主任	3人
スタッフ	4人
回答なし	1人

この研修の受講回数	
初めて	7人
2回目	10人
3回目	5人

看護・訪問看護経験年数	
看護経験平均年数	26年
訪問看護経験平均年数	9.5年
訪問看護管理者平均年数	9年

## 今回の受講動機、きっかけについて(複数回答)

講師・研修内容に興味あり学習したかった	13人
次期訪問看護管理者になるための準備	3人
訪問看護ステーション開設に向けての情報収集	5人
上司・同僚からのすすめ	8人
自部所の事業評価のため	4人
自身の課題達成のため	14人
その他	1人

## 受講者の学びの声(一部紹介)

- 質の高い看護を提供するためには、管理者のビジョンを示し、実行することももちろん、スタッフにも、実践していただけるよう考えること。地域医療という視点をもつことが、重要だと思いました。
- 忙しいオーラを出さない、リーダーシップをとる、マネージメントする等、管理者としてあるべき姿を学ぶことができた。
- 訪問看護の原点をみなおし、スタッフ育成、マンパワー利用等、人材の活用等学んだことを生かせると思う。
- 痰吸引や他の技術に関してプロトコルの活用、安全マニュアルの遵守が大事である。
- プロトコールについて学習し、活用したい。
- リスクマネジメント 利用者の立場から対策を考える。
- 法律にもっと敏感になることが大切だと思う。

## まとめ

訪問看護に関する両講師の意気込みは高く、その分受講生への期待度も高く窺えた2日間でした。

## 秋田臨海 地区支部

秋田臨海地区支部長 今野 笑子

### 「臨海地区支部研修会」

7月13日に地区支部研修会を開催しました。今回は日本メディカルアロマテラピー協会秋田校 セラピストの柳原淳子氏による「看護職のための心と身体のケア」というテーマで行いました。

メディカルアロマテラピーは植物本来のもつ力を壊さず不調な体のケアを改善する代替療法であり、東洋医学的(体質改善)・西洋医学的(即効性)・心理学的(香り)の3つの使い方があり安心して使用できるものである。精油の選び方の基本と体質的に必要な精油をおすすめレシピを紹介して頂き実際に化粧水とルームコロンを作成しました。またストレス尺度の紹介とストレスチェックリスト・ストレス耐性度チェックリストを用い、現在の自分のストレス度を認識し対処法として自律訓練法実施の手順や日中行った場合の消去動作・気

をつける点を講義して頂きました。さらに講師のアロマテラピーとの出会いや心理カウンセラーとして心に寄り添うケアを心がけているお話を伺いとても癒やされ有意義な研修会となりました。



### 「ふれあい看護体験」

中・高校生の夏休みに秋田赤十字病院、市立秋田総合病院、秋田組合総合病院、中通総合病院のご協力をいただき、ふれあい看護体験を行いました。医療や看護に興味を持っている生徒が多く、今回の体験でより理解と関心を深めようと思い参加していました。看護部長の講演や看護実習を通して、「患者さんからありがとうと涙を流しながら感謝された」「信頼関係を築くためには、コミュニケーションが大切である」「大変な仕事ではあるが、将来看護の道に進もうと思った」等と看護師を目指したいという気持ちをより強くした様子でした。この事業に携わった会員も、とても新鮮な気持ちになれました。ご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

## 湯沢・雄勝 地区支部

湯沢・雄勝地区支部長 伊藤 美枝子

### 「まちの保健室」

5月12日、午前10時から午後2時まで、湯沢イオンショッピングセンター内で開催しました。お客様出入口の正面という好条件の場所をご好意によりお借りして、血圧測定、体脂肪測定、健康相談、看護協会グッズのプレゼントなどを行いました。館内放送もして頂き、秋田県看護協会をPRして頂きました。「母の日」ということもあり、118名の広い世代の地域住民の方々と交流を図ることができました。中には車椅子を押して買い物にいらした方や、92歳の元気な方から健康の秘訣をお話し頂いたり、笑顔がいっぱいの「まちの保健室」となりました。次年度も地域住民の健康増進のため活動をしていきたいと思えます。





## 鹿角 地区支部

鹿角地区支部長 成田 須磨子

### 「看護の日記念事業 まちの保健室」

5月12日午後、いとく鹿角ショッピングセンター内で「看護を地域住民に還元し、看護職をアピールする」を目的に開催しました。血圧測定・体脂肪測定・骨密度測定・血管年齢測定・健康相談・進路相談・ちびっ子ナース撮影・写真、グッズプレゼントなどを行い、測定値の結果を説明し注意点を指導する事ができました。また、親子での白衣の写真撮影は、大好評を得ることができました。次年度も地域住民の健康増進のため活動していきたいと思っております。

### 「交流研修会」

6月30日 宮古・陸中海岸方面へ、「会員の交流を通して看護業務の連帯や非会員の加入の促進を図ると共に、災害への意識を高め、復興支援のために自分たちができる事をする」を目的に交流研修旅行を行いました。

37名の参加があり、宮古市観光協会の『学ぶ震災』田老震災語りべでは、実際に被災し残っている「たろう観光ホテル」へ行き、その場で撮



影された映像を見ながら説明を受けました。涙が流れ、足がすくむ思いでした。その後、破壊された防波堤を見学しながら周囲を歩き、改めて災害の恐ろしさを感じ、日頃から防災意識・教育の重要性を再認識する事ができました。復興支援には色々な方法がありますが、今ここに生きている人々が育て収穫した海草や海鮮物を、購入することも支援に繋がることを学びました。今後も会員の交流を図りながら、復興支援活動を継続して行きたいと考えております。

### 「出前授業」

県立花輪高校にて看護師・助産師の仕事・技術体験などの講話を行いました。多数の参加から、興味を持っている事を実感しました。今後も医療・看護への理解を深めるため活動して行きたいと思っております。



### 「ふれあい広場」

7月7日、午前10時から午後15時まで、湯沢市社会福祉協議会主催の「第28回ふれあい広場」に今年も参加しました。湯沢市柳町商店街犬っこ通りが歩行者天国となり、「ふれあい看護コーナー」として、血圧測定、体脂肪測定、健康相談、看護協会グッズのプレゼントを行い、秋田県看護協会をPRしました。「ふれあい広場」には、約5,500名の地域住民の方々が訪れ、「ふれあい看護コーナー」には、144名の方に来て頂き、準備していた120部の測定記録用紙がなくなるというハプニングがあったりと、健康に対する意識の高さが伺えました。身体障害者の方や、施設で働く職員の方とも交流を図



ることもできました。

後日、湯沢市社会福祉協議会会長様より、公益社団法人秋田県看護協会地区支部当てに、「お礼」の文書を頂き嬉しく思いました。次年度も参加しふれあいの輪を広げていきたいと思っております。

# 平成25年度 子育て応援団 すこやかあきた 2013

実施日 平成25年  
8月10日(土)  
8月11日(日)

場所 秋田県立武道館

参加者 32,000名  
(主催者調べ)



正面玄関でのセレモニーを今年はテントの中で実施する。雨対策としてだけではなく、直射日光対策としてよかった。

## オープニングセレモニー

- 日時:8月10日(土)  
9時10分から9時30分
- 場所:秋田県立武道館 正面玄関前
- 次第:挨拶
  - ・秋田県知事 佐竹敬久氏挨拶
  - ・秋田市副市長 鎌田潔氏挨拶
  - ・ABS秋田放送代表取締役社長 立田聡氏主催者挨拶
  - ・テープカット

## 1.看護協会ブース利用者数

	参加者数	身体計測	写真撮影	健康相談	ベビーマッサージ	救護
1日目	10,007人	117人	149人	34人	15人	4名
2日目	22,000人	121人	76人	26人	12人	1名
総数	32,007人	238人	225人	60人	27人	5名

## 2.看護協会運営スタッフ

秋田臨海地区支部	助産師職能委員	看護師職能委員	看護学生ボランティア	秋田県看護協会本部	ベビーマッサージ
2名	2名	1名	4名	3名	3名

## 3.まとめ



- 身体測定については「成長記録の1ページ」としてかわいらしいキャラクター(東洋羽毛の許可)を付けてパーセントイルを出した。男の子・女の子で色分けし好評であった。
- ちびっこナース撮影コーナーは看護学生の呼びかけで特に1日目は大入りであった。白衣かけのフックを準備し、白衣と聴診器を展示したことで、子どもたちが選ぶ事ができるようにした。
- ベビーマッサージ1日目は事前申込が殆どで、当日はお断りをする状態であった。2日目には少し余裕があり希望に添うことができた。両親揃って実施している微笑ましい光景であった。
- 離乳食のパンフレットは月齢各1000部準備したが、8か月以降のものは殆ど配布した。
- 今年は風疹が全国的に流行している事から、風疹ポスターやパンフレットを準備した。秋田では罹患者が少ない事からか関心が薄いように感じた。

# 理事会 だより

## 第1回 理事会

日 時 ■平成25年5月15日(水) 午後1時30分～午後4時58分

場 所 ■秋田県看護協会 第一研修室

出席者 ■理事19名、監事3名 欠席者:理事1名

### 1. 議 事

- |                                    |    |
|------------------------------------|----|
| 1) 平成25年度公益社団法人秋田県看護協会事業計画(案)について  | 承認 |
| 2) 平成24年度公益社団法人秋田県看護協会決算報告(案)について  | 承認 |
| 3) 平成25年度収支予算(案)について               | 承認 |
| 4) 訪問看護ステーションあきた運営規程の一部改正について      | 承認 |
| 5) 秋田県看護協会立居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について  | 承認 |
| 6) 秋田県看護協会平成26年度教育方針(案)について        | 承認 |
| 7) 秋田県看護協会認定看護管理者制度教育課程規則の一部改正について | 承認 |
| 8) 地区支部長及び地区支部委員の変更について            | 承認 |
| 9) 秋田県看護協会通常総会プログラム及び議案の確認について     | 承認 |

### 2. 協議事項

- 1) 秋田県看護協会認定看護管理者制度教育課程細則の一部改正について
- 2) 公益社団法人秋田県看護協会教育会議設置要綱の一部改正について
- 3) ふれあい事業社会福祉施設等贈呈要綱の一部改正について
- 4) 平成25年度秋田県看護協会通常総会の運営について
- 5) 秋田県看護協会通常総会進行シナリオについて
- 6) 理事会の議事録作成について
- 7) 母子保健功労顕彰会母子保健奨励賞受賞候補者の推薦について

### 3. 報告事項

- 1) 平成25年度役員等立候補者の変更公示について
- 2) 訪問看護ステーションあきたの過誤返還について
- 3) 地域医療再生計画の策定に係る事業提案について
- 4) 平成25年度会員数の状況について
- 5) 平成25年度日本看護協会理事会報告

## 第2回 理事会

日 時 ■平成25年6月18日(火) 午前9時50分～午後0時10分

場 所 ■秋田県看護協会 第一研修室

出席者 ■理事19名、監事3名 欠席者:理事1名

### 1. 議 事

- |                            |    |
|----------------------------|----|
| 1) 平成25年度事業区分体系図の変更(案)について | 承認 |
| 2) 平成25年度補正(修正)収支予算(案)について | 承認 |
| 3) 会計勘定科目の新設(案)について        | 承認 |
| 4) 訪問看護ステーション職員業績手当の支給について | 承認 |

### 2. 協議事項

- 1) 平成25年度秋田県看護協会通常総会について

### 3. 報告事項

- 1) 平成25年度日本看護協会通常総会について

## 第3回 理事会

日 時 ■平成25年6月19日(水) 午後3時45分～午後4時40分

場 所 ■秋田県看護協会 第一研修室

出席者 ■理事20名、監事3名 欠席者:なし

### 1. 議 事

- |                   |    |
|-------------------|----|
| 1) 副会長等の選任について    | 承認 |
| 2) 常務会の構成メンバーについて | 承認 |

### 2. 協議事項

- 1) 各理事の行事等担当について

### 3. 報告事項

- 1) 平成25年度秋田県看護協会・日本看護協会の行事・事業日程について
- 2) 各地区支部活動の「看護あきた」への掲載について



## 第44回日本看護学会－成人看護Ⅱ－学術集会 一般公開講座のお知らせ

標記学術集会では、地域の皆様に看護への理解を深めていただけるよう、学術集会のプログラムの一部を一般公開しています。内容、参加方法は以下の通りです。多くの皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます。

公開講座名	県民公開講座 <b>生きることを感じる</b>
開催日時	平成25年10月3日(木) 15:00～16:00
講師	中村 征夫 水中写真家
講座の内容	水中写真家の中村征夫の写真から、海の魅力、自然の魅力を知り、「生命・生きる」について感じる。
会場	秋田県民会館 〒010-0875 秋田市千秋明德町2-52 Tel.018-834-5055 Fax.018-834-5056
公開講座定員数	特に定員はありません。
受付時間	14:30より受付します。
受付方法	当日、直接会場にお越しください。 詳細は、秋田県看護協会へお問い合わせください。

### ※ご注意

一般の方のための公開講座のため、看護職で参加希望の方は学術集会の参加申込をしてください。

[詳細に関するお問い合わせ先] **公益社団法人秋田県看護協会** 担当者:工藤 一子  
住所:秋田市千秋久保田町6-6 電話:018-831-8020  
Email:a.kango.kyouiku2@jupiter.ocn.ne.jp

## 安全情報 No.1 医療・看護安全委員会

PTPシートを患者が誤って内服してしまったという事故が複数報告されています。PTPシートの誤飲は病院だけでなく自宅など、日常生活の場でも起こっています。自宅で内服加療する方や退院する方にも説明し協力を得るなど、対策を検討する際に参考にしましょう。

### PTPシートの誤飲事故対策

1. PTPシートは小さく切り離さない
2. 包装形状の異なる状態で一緒に配薬しない  
(PTPシートに入った薬と一包装の袋から出した薬など)
3. 内服薬を自己管理している人も状況に応じ誤飲のリスクを再評価
4. 薬の一包装を検討する
5. 患者・家族にPTPシートの誤飲の危険性を説明し協力を得る など



[詳細は日本看護協会のホームページに掲載されております]  
※日本看護協会HPより引用

今回掲載された文章や写真、個人名・団体名については個人情報保護法の下、他の目的には一切使用いたしません。

### 編集後記

この夏は会員の皆様はどう過ごされましたか？  
広報委員会として新体制となり1年が過ぎました。6月からメンバー交代もあり、まだまだ試行錯誤中ですが、皆様に喜んで頂けるよう魅力あふれる「看護あきた」を創っていきたくと頑張っていますので、よろしくお祈りします。  
ホームページも含めご意見・ご感想をお待ちしております。

(記・菊地 久美子)

## 看護あきた Vol.113 平成25年度 2号

Nursing Akita



発行日/平成25年9月6日

発行責任者/公益社団法人 秋田県看護協会 会長

発行所/公益社団法人 秋田県看護協会 秋田市千秋久保田町6-6 Tel 018-834-0172

印刷所/秋田中央印刷(株) 秋田市新屋豊町6-43 Tel 018-823-7577